

公益財団法人 大阪府国際交流財団

事業名	留学生等のための総合防災対策事業						
実施期間	平成26年7月5日～平成26年11月14日						
場 所	堺留学生会館オリオン寮、マイドームおおさか会議室						
参加者	外国人留学生	地域住民	学生	スタッフ	関係者	来場者	合計
	20	7	2	19	12	19	79 名

＜実施内容＞

大阪府国際交流財団では、平成26年度公益財団法人中島記念国際交流財団助成による留学生地域交流事業として、「留学生等のための総合防災訓練(7/5)」と「高等教育機関留学生担当者防災ワークショップ(11/14)」の二つの事業を組み合わせ実施しました。

7月5日(土)、大阪府堺留学生会館オリオン寮で実施した「留学生等のための総合防災訓練」には、留学生23人、ボランティア7人のほか、府・市町村スタッフ及び見学者、講師、運営スタッフを含め総勢56人が参加しました。



「留学生等のための総合防災訓練」
避難所体験での消防指導(通報訓練)



「留学生等のための総合防災訓練」
多言語支援センターでの翻訳訓練



「留学生等のための総合防災訓練」
多言語支援センターメンバーによる避難所巡回の様子



「高等教育機関留学生担当者防災ワークショップ」
尾中講師による講演



「高等教育機関留学生担当者防災ワークショップ」
意見交換会の様子

当日は会場を2つのエリアに分け、一方では地震経験の少ない留学生等を対象とした避難所体験を、もう一方では外国人支援に取り組むボランティア等を対象とした多言語支援センター設置訓練を設定し、2つの訓練を同時並行で行いました。

避難所体験に参加した留学生等のなかには地震の経験がない学生も多く、DVD鑑賞やグループワーク、非常食体験、地元警察と消防署による指導等の多彩なメニューを通じて、震災時の身の守り方や避難所での過ごし方等について理解を深めました。

一方、多言語支援センター設置訓練では、まず多言語支援センターの全体像と役割を理解したうえで、災害対策本部から流れてくる情報の選別と多言語翻訳、避難所巡回をメインに訓練を行いました。日本人ボランティアに交じて中国人留学生ボランティアも参加し、日本人、外国人を問わず、自分のできることはなにか考える姿がみられました。

参加者からは、「外国人が災害時の対応を学ぶ貴重なチャンスでした。参加できてよかったです。」などの感想をいただきました。

次に、11月14日(金)実施の「高等教育機関留学生担当者防災ワークショップ」には、府内の大学及び専門学校の留学生担当者をはじめ行政や国際交流協会等、幅広い分野から、23名の方々にご参加いただきました。

まず前半に、岩手大学教育推進機構国際教育センター准教授の尾中夏美氏より、「東日本大震災時における留学生支援と復旧・復興 一被災から学び明日への一歩に繋げる教育活動」の演題でご講演いただきました。その後、参加者全員が4つの班に分かれて「災害時における留学生の安否確認について」のテーマで意見交換を行いました。

参加者アンケートでは「各校の取り組みなどが聞けて参考になりました。」「どこの学校や専門学校も同じ悩みを抱えていた。」といった趣旨の感想が非常に多く、このような場を持つことの意義を改めて感じました。

当財団では、今後とも関係諸機関との連携を図り、留学生をはじめとする外国人の活動環境整備に努めてまいりたいと考えています。

<参加者からのコメント>

無記名/Anonymous

消火器と心肺蘇生法を学びたいというきっかけで参加しました。たくさんのことを理解して、勉強になりました。ありがとうございました。

無記名/Anonymous

外国人が災害時の対応を学ぶ貴重なチャンスでした。参加できてよかったです。